

今回のテーマは「脱皮」です。

多くの動物は、体の表面の組織が成長に伴って更新されていきます。

そのスピードは非常に緩やかですので、見かけ上はその変化に気づくことはないですね。

しかし、体の大部分、或いはほぼすべての外皮を一気に脱ぎ落とす、大胆？な種もいます。

これを「脱皮」と呼んでいます。脱ぎ落とした皮（抜け殻・脱皮殻）をよく見ると、その種の体表面の形状が見事に保持されていますので、いったいどんな種が脱皮したのか、何となく推測することができますね…(^_^)b

◆写真①・②： 抜け殻

◇後ろ足が長くて、目玉も大きな種のように…

◆写真③・④： 近くに脱皮した幼虫…？

◇抜け殻の直ぐ近くから、こちらをじっと見つめる視線に気づきました。

◇抜け殻の形状と、彼の外形もぴったり一致するようです。

◇どうやら「ナキイナゴ」の幼虫（若虫）みたいです。

◆写真⑤： 抜け殻その2

◇こちらは、先ほどのイナゴとは明らかに形状が異なりますが、いったいどのような種なのでしょう？

◆写真⑥・⑦： 近くに脱皮した成虫…？

◇どうやらこの抜け殻の主は「ツマグロオオヨコバイ」のようです。

◇目がたくさん並んだような顔つきから、ウルトラマンに出てくる宇宙人のようにも見えますが…

◇名前を漢字にすると「端黒大横這」、つまり、“先が黒く、大きくて、横に這って歩く” 虫、ということなのでしょう。

◇その体色や形状から、“バナナ虫” などと呼ばれたりしています。

さて、

「完全変態」と「不完全変態」という言葉をお聞きになられたことはあるでしょうか？

蛹（さなぎ）を経ずに、幼虫が直接成虫に変態することを「不完全変態」といいます。

これは、昆虫の基本的な変態の形で、この場合の幼虫は、完全変態をするものと区別するため、「若虫（じゃくちゅう、わかむし）」などと呼ばれることもあります。

若虫と成虫の外見上の違いは、体の大きさ及び翅（羽）が生えているかどうか、という程度で、非常に似ているのです。

完全変態： チョウ、ハチ、カブトムシ、…

不完全変態： セミ、カマキリ、トンボ、バッタ、…













